

<第1号議案>

公益社団法人全国結核予防婦人団体連絡協議会 平成31（令和元）年度事業報告 （平成31年1月1日～令和元年12月31日）

平成31（令和元）年度実施した事業の概要は、次のとおりである。

1. 本協議会定期社員総会の開催

結核予防全国大会の一環行事として、本協議会の平成31年度定期社員総会を開催した。

2. 第70回結核予防全国大会の後援

結核予防会主催の第70回結核予防全国大会を後援した。

なお、本協議会関連の主なる行事は次のとおりである。

【第1日】 2月27日（水）

ホテル椿山荘東京

イ. 全国結核予防婦人団体連絡協議会定期社員総会

ホテル椿山荘東京 瑞光（バンケット棟1階） 11:00～12:00

ロ. 研鑽集会

ホテル椿山荘東京 グランドホール椿（バンケット棟5階）
13:30～16:55

テーマ「結核の予防と支援、立場の違いを超えて」

基調講演 シンポジウム

アトラクション

「吹奏楽」東京都小平第三中学校吹奏楽部

ハ. 懇談会

ホテル椿山荘東京 瑞光（バンケット棟1階） 17:10～17:50

ニ. 記念写真撮影

ホテル椿山荘東京 寿・写真室（バンケット棟B1階） 18:05～18:10

ホ. 大会歓迎レセプション

ホテル椿山荘東京 雅（バンケット棟4階） 19:00～20:30

【第2日】 2月28日（木）

ホテル椿山荘東京

イ. 大会式典・議事

ホテル椿山荘東京 グランドホール椿（バンケット棟5階）
10:00～11:20

式次第

- | | | |
|----------------------------|-------------------|-------|
| (1) 開会の辞 | 公益財団法人東京都結核予防会理事長 | 櫻山 豊夫 |
| (2) 大会運営委員長あいさつ | 公益財団法人結核予防会理事長 | 工藤 翔二 |
| (3) 東京都知事挨拶 | | 小池百合子 |
| (4) 第22回秩父宮妃記念結核予防功労賞受賞者表彰 | | |
| (5) おことば | | |
| (6) 来賓祝辞 | 厚生労働大臣 | 根本 匠 |
| | 外務大臣 | 河野 太郎 |

公益社団法人日本医師会会長
公益社団法人全国結核予防婦人団体連絡協議会会長

横倉 義武
木下 幸子

□. 特別講演

ホテル椿山荘東京 グランドホール椿（ハンケット棟5階）

11:30 ~ 12:20

演 題：微生物創薬と社会貢献

講 師：大村 智

3. 結核予防関係婦人団体幹部研修会の開催

結核予防関係婦人団体中央講習会を結核予防会との共催により開催した。

地区別結核予防婦人団体幹部研修会を、開催地区結核予防会各支部と地元婦人会との共催のもとに開催した。

結核予防を中心とした公衆衛生知識の向上と、各参加団体会員相互の交流を目的として実施した。

(1) 第23回結核予防関係婦人団体中央講習会

期 日：平成31年2月4日（月）～5日（火）

場 所：リーガロイヤルホテル東京（新宿区）

参加人数：90名

(2) 地区別結核予防婦人団体幹部研修会

イ. 北海道地区（北海道）令和元年7月4日～5日 国立大雪青少年交流の家

ロ. 関東甲信越地区（千葉県）令和元年12月3日 東京ベイ舞浜ホテルファーストリゾート

ハ. 中国四国地区（広島県）令和2年1月16日～17日 広島県民文化センター等

ニ. 九州地区（鹿児島県）令和元年11月13日～14日 鹿児島県市町村自治会館

4. 結核予防週間の共催

厚生労働省、都道府県、政令市、特別区、結核予防会、日本医師会、並びに本協議会共催で、2019年9月24日～30日に実施した。本週間中には、各地域において全国一斉複十字シール運動キャンペーンをはじめとする各種の行事を行うとともに、結核予防への関心を高める。

5. 教育広報誌「健康の輪」の発行

結核及び公衆衛生全般の知識の向上と会員相互の連携を深める目的で発行しているものであるが、2019年度は、例年通り3月、7月、11月にそれぞれNo.125、No.126、No.127を発行配布する。体裁は、A4版、10頁で、年3回（1回につき33,000部）発行した。

6. 複十字シール運動の後援、実施

結核予防会主催、厚生労働省・文部科学省及び本協議会后援により実施されている本運動に参加し、結核予防の教育広報並びに資金造成に努める。

具体的には、以下の3事業を実施した。

- (1) 複十字シール運動開始日（8月1日）を中心として、結核予防会本部役員と本協議会会長が厚生労働大臣を、結核予防会各都道府県支部幹部職員と本協議会各都道府県の会長が各知事を表敬訪問し、「大会宣言」の説明に加え、全国及び地域の結核の現状を報告することにより、複十字シール募金運動の意義を理解していただき、各自治体から結核予防思想について広く一般に伝え、一層の普及を図

っていただくよう依頼した。本年度の厚生労働大臣表敬（8月26日）では、根本厚生労働大臣に直接要請することができた。

(2) 結核予防週間の初日（2019年9月24日）を中心として全国一斉複十字シール運動キャンペーンを、結核予防会各都道府県支部との協力の下に実施し、本運動及び結核予防の普及啓発を図った。

(3) 平成30年度から結核予防会が開始した寄付型自販機（飲料）の設置に婦人会組織の総力を挙げて協力した。

7. 普及広報資材の製作

全国一斉複十字シール運動キャンペーン用資材（カットバン）3万個を作成した。

8. 国際協力

結核予防会が行っている国際協力事業を進めるにあたっては、複十字シール募金を通じて資金造成に協力した。

また、結核対策スタディツアーは婦人会役員と結核予防会各支部のシール担当者並びに一般の参加を募り、開発途上国の婦人会への結核予防の知識普及啓発への協力をした。

今回は、婦人会40周年記念国際会議に訪日したラオク国会議員副議長の招きもあり、国会に招待された。

期 日 2019年12月2日～12月7日

訪問地 カンボジア

参加者 婦人会3名、結核予防会職員2名

スケジュール

12月3日 成田発（10：50）ープノンペン着（15：40）
ホテルチェックイン

12月4日 CATAプロジェクトサイト視察（縫製工場）、CATA事務所表敬・CATA活動説明・CATA婦人会との交流・ラオク・ケイン副議長表敬
市内観光（トゥールスレン博物館）

12月5日 ピアレン医療圏(OD)視察・州病院院長表敬・活動説明、州病院（デジタルX線・LED顕微鏡）、ロカ保健所（HC）見学、リアップHC見学、自由行動

12月6日 国立保健医療科学表敬、健診・検査センター視察、プロジェクト概要説明
プノンペン発（22：50）ー

12月7日 成田着（6：55）

9. 世界結核デー

3月24日はWHOが制定した「世界結核デー」である。「結核のない世界」をめざして、その周知のために広報活動を行った。

10. ストップ結核パートナーシップ日本への参画

国内の結核対策を充実させ、結核低まん延国化を図る。またこれまでの知見を生かして結核が多い地域への支援を充実させる。このため、行政機関、研究機関、市民社会、民間企業など

の多様なセクターで構成された連合体を組織し、加盟団体は協調して政治的支援、住民参加を得て日本と世界の結核対策を推進させる活動を支援した。

9月27日に成田空港で行った普及啓発イベントに協力し、世界の結核をなくさなければ日本の結核が減らないことについて、カットバンなど出国ロビーにいる観光客に配布した。

11. 生活習慣病対策の後援

これまでの僻地・離島を含めた全国津々浦々で結核健診と保健指導を一体として行ってきた経験と実績をこれからの生活習慣病対策に活かすべく、健診と保健指導を中心とする JATA 健康ネットワーク事業を結核予防会本部支部が組織を挙げて推進している。

今日的国民病となった生活習慣病対策に取り組む結核予防会を支援し、さまざまな健診の受診率向上の推進及び生活習慣病対策を国民運動の活動を後援した。

12. COPD対策事業への取組

COPD（慢性閉塞性肺疾患）の早期発見と早期治療のための普及啓発を行っている結核予防会と協力し、COPD（慢性閉塞性肺疾患）に関する知識を深め国民の認識と理解を高めるために、地域住民をはじめとする社会への積極的な働きかけをして、第二次健康日本21の目標「80%の認知率」達成に協力した。

13. 世界禁煙デー

5月31日はWHOが制定した「世界禁煙デー」である。地球上からたばこの煙がない1日にする運動に協力した。

14. 女性の健康週間の協力

厚生労働省、日本産婦人科医会、日本産科婦人科学会主唱の「女性の健康週間」に本協議会は協力関係団体として取り組む。3月1日～8日（ただし、地域の実情による期間延長等の変更は差し支えない）の本週間中には、子宮がん・乳がん健診等の受診率アップや、女性を取り巻く健康課題に対する社会的関心の喚起を図るため、行政が行う各種の啓発事業及び行事等に積極的に協力した。

15. ヒューマン・ケア心の絆プロジェクトの共催

一般社団法人ヒューマン・ケア心の絆プロジェクトが主催する、医療支援を中心とした被災地（岩手県・宮城県・福島県）への支援活動「心の絆プロジェクト」に本協議会は共催し、結核予防会と共に健康チェックのひとつとして「肺年齢測定体験会」を実施する。それにより、COPD（慢性閉塞性肺疾患）の理解を呼びかけ、多くの市民に生活習慣病の予防についてのメッセージを発信していく。

2019年9月29日、事務局長が気仙沼市内ノ協災害公営住宅集会所に出向き、健康よろず相談会を実施し、23名の参加を得た。

16. 健康日本21推進全国連絡協議会への協力

すこやか生活習慣国民運動実行委員会の加入団体として、医療、保健、栄養（食生活）、運動、禁煙の各専門分野（分科会）からの情報を共有し、事業展開に協力した。

17. 会議の開催

(1) 定期社員総会

期日 平成31年2月27日(水)

場所 ホテル椿山荘東京 胡蝶(バンケット棟1階)

議案 平成30年度事業報告 並びに収支決算 について
平成31年度事業計画(案) 並びに収支予算(案) について

(2) 理事会

第1回(書面決裁)

議案 平成30年度事業報告 並びに収支決算 について
平成31年度事業計画(案) 並びに収支予算(案) について
会長、副会長、執行理事からの活動報告

第2回

期日 令和元年11月26日

場所 結核予防会5階 大会議室

議案 令和2年度定期社員総会の開催について
令和2年度事業計画(案) について
令和2年度収支予算(案) について
役員改選について
定款の改正について
会長、副会長、執行理事からの活動報告